

第72回三島市美術展 入賞者一覧

【日本画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ
市長賞	11	勝又 まゆみ	残像	P50号
議長賞	10	山田 淳子	夏の庭	S40号
教育長賞	12	永井 清勝	居酒屋	F20号
奨励賞	15	石福 参朗	航跡	20号
奨励賞	17	佐藤 末美	白孔雀	M30号

〔審査員講評〕

全体的には非常に高いレベルの作品群でした。市長賞・残像：色彩感と構成力がすばらしく、単なる切株におわらないストーリー性が良く、左上の白い鳥も魅力的。議長賞・夏の庭：ピンク系のユリの花と背景の葉色の緑色が大変に美しい色彩感を出しています。教育長賞・居酒屋：画面に登場している人物表現がすばらしく、室内の暖味と声がかまさに聞こえてくるようです。奨励賞・航跡：物語性のある情景から豊かな気持ちにさせてくれるシーンで日本画の特徴を生かした作品となりました。奨励賞・白孔雀：基本的にすばらしい技術力のある方で、あと一歩背景表現にアクセントがつかると良かったです。

審査員 松山 英雄、山崎 照代

【洋画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ、技法
市長賞	11	外川 雄章	山紫水明	F50号、油彩
議長賞	41	杉山 記子	人物	51.3cm×72.5cm、パステル
教育長賞	18	勝俣 あい子	The moment	30号、油彩
奨励賞	14	櫻井 武	真鶴岬10月	71cm×100cm、パステル
奨励賞	43	勝又 初江	あのあるところ	10号、アクリル
奨励賞	13	栗田 隆	東京スカイツリー	55.5cm×40.5cm、木版
奨励賞	31	松本 民子	産ぶ声	F20号、油彩

〔審査員講評〕

全体の印象として小さい作品が多かったが、モチーフがバラエティに富んでいて作者達の想像力の高さが際立っていました。丁寧に描かれた端正な作品が多く、描く熱意が伝わってきます。市長賞は描きたい物がはっきりしており、熱意が伝わる作品でした。議長賞は対象について愛情が感じられ、色使いが綺麗でした。教育長賞は、タイトル通り、ストーリーを想像させ、単純な構図で挑んでいて勇気ある作品でした。受賞しなかった作品も力作が数多くあったことを記しておきたいと思います。

審査員 塩川 晴美、福王 寛子

【写真の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	55	菊川 奈緒美	我が道を行く
議長賞	54	小澤 美津江	悠久なる揺らぎ
教育長賞	56	田村 全子	春起こしの頃
奨励賞	21	石川 裕久	夢ふくらむ
奨励賞	4	望月 重雄	夕暮れ迫るウッドデッキ
奨励賞	18	遠藤 精次	デッドヒート
奨励賞	35	杉本 由季	ファンサービス
奨励賞	23	大石 良則	夢奏

〔審査員講評〕

今年も数多くの作品の応募をいただき、ありがとうございます。全体として内容的にも優れた作品が揃った中で、作品に対する作者の感性や意図がより明確に伝わる作品を賞に選ばせていただきました。中でも市長賞を受賞した「我が道を行く」は、写真表現ならではの効果を利用した優れた作品になっています。今後も美術作品としての意識をしっかりとって、作品の表現により磨きをかけていただくことを期待します。

審査員 岡部 稔、村上 益男

【書道の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	4	増間 五峰	白居易詩
議長賞	5	藤池 菁鳳	万葉集より
教育長賞	3	松田 雅子	やまのはに
奨励賞	11	笹津 治子	追憶
奨励賞	8	日置 彩伽	書譜

〔審査員講評〕

コロナ禍もようやく下火となり、文化活動も少しずつ以前の活況を取り戻しつつあります。今回展には工夫された様々な作品が出品され、皆様が楽しく書に取り組まれていることがわかりました。上位の三賞は、他の作品と比べて完成度が高く会場で目を引きました。増間さんの白居易詩は、中国北魏時代の楷書を基盤として強靱な書線で構築されると共に、文字の構成もよく考えられ市長賞にふさわしい作品です。議長賞の藤池さんは小字で万葉集の和歌を形の異なる4枚の紙にうまくちらし、筆がよく紙を噛んで線にキレがあり、構成も研究されています。一方対照的に教育長賞の松田さんは、大字で和歌一首を二行にまとめました。多様な線質で伸びやかに書かれた左行は、空間を大胆に切り取っています。一方、右行は迷いがあるのか筆に遅滞があり残念でした。書にはいろいろなジャンルがあり、多様な表現を試みることができます。いつもとは少し違った書き振りをする事で書の新しい魅力を発見したり、書の奥深さを体感することができます。応募された方、書に関心のあるご来場者の皆様には生涯学習として今後も末永く書に取り組んでいただきたいと思います。

審査員 池谷 天外、増田 文杏

【総合美術・工芸の部】

賞	目録No.	氏名	題名	技法
市長賞	30	富永 敏明	南無仏大師像	木工
議長賞	8	澤山 明夫	龍	衝立
教育長賞	20	彦根 雅行	青の舞ひ	紙バンドアート
奨励賞	17	望月 汎岳	2段の藤棚	彫と呂色漆、蒔さび、金
奨励賞	5	渡辺 潤	流れ	手びねり

〔審査員講評〕

総合美術・工芸部門の総評としては、全体的に技術的な面やねらい、世界観の高い創造性を感じさせるものとなっています。それ故各賞を選出するのに苦労させられました。甲乙つけがたくはありますが、各賞について一言。市長賞の大師像は全体の優美な姿、お顔もおだやかで引き込まれる作品です。仕上がりもすばらしく見飽きないものとなっています。議長賞の屏風は墨の勢いの中に迫力ある龍の姿が印象的です。教育長賞の蝶の舞う空間は背景の青との対比が美しく素材の偏光シートが効果的です。奨励賞の2点も、難しい大きな陶作を見事に焼きあげていますし、同様に漆を美しく磨き上げていて感心しました。他の作品もどれも魅力的で見応え十分です。

審査員 鈴木 健司、村上 直子